

## 《県営ほ場整備事業》

# 竹富町庸原地区

### 地区の概要

波照間島は石垣島より約50kmの距離に位置し、有人島の中で我が国最南端の島である。本地区は島のほぼ中央に位置し、比較的平坦な地形でさとうきびの作付けを中心とした畑作地域である。



### 事業概要

- 1) 受益面積 64ha
- 2) 受益者数 144人
- 2) 主要工事 区画整理64ha
- 3) 総事業費 17億5,200万円
- 4) 工期 平成3～12年度

### 事業実施の効果

#### 農作業の省力化

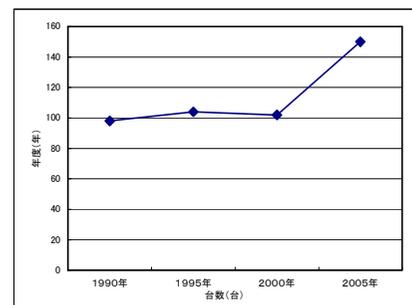
本地区の事業実施前は、原野と畑が散在する不整形な区画で、畑は耕土深が浅く石灰岩が点在していた。

事業実施後は区画が整形され、機械化作業が可能となったことにより、乗用型トラクターをはじめとした大型農業機械の保有台数が増加傾向にあり、着実に農作業の省力化が図られている。

事業実施前



人力によるサトウキビの収穫



波照間島における乗用型トラクターの保有台数の変化

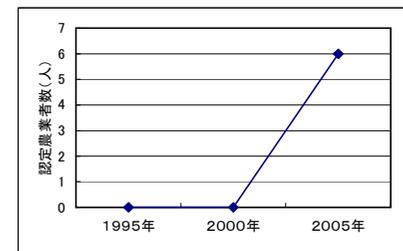
事業実施後



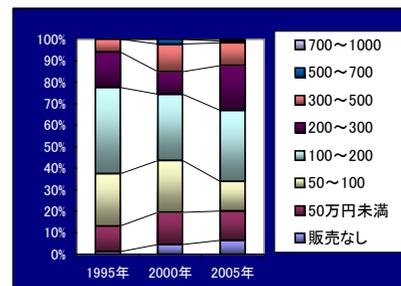
乗用トラクターによる営農

#### 経営規模の拡大

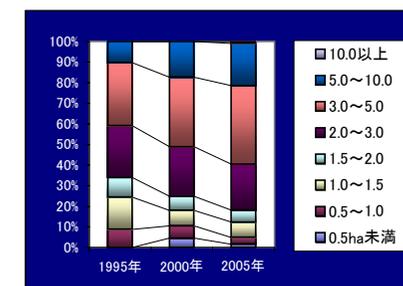
事業の実施により、農業所得と経営規模が増加している。農家の販売規模をみると農産物販売額200万円以上の農家の割合が高くなっており、耕地面積別経営体数も3ha以上の経営体が増加している。また、事業実施前は認定農業者がいなかったが、実施後6人認定されている。



庸原地区における認定農業者数



波照間島における農産物販売規模別農家数



波照間島における経営耕地面積規模別農家数

### 今後の農業展開

本地区では、事業実施前の作付けはほとんどがサトウキビであった。それが、事業実施を契機に高収益のかぼちゃや希少価値の高いもちきびなどが導入されてきている。また肉用牛が伸びてきており、それに伴い牧草も増えてきている。

今後は、かんがい施設の整備が予定されており、天候に左右されない安定的な農業経営が期待される。



牧草の作付状況



もちきびの栽培状況



かぼちゃの栽培状況